

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 2

(平成17年10月分)

号 機	3号機	定 期 検 査	第3回定期検査
件 名	燃料集合体1体からの漏えいについて		
月 日	平成17年10月12日(水)	発 生	発 見 確 認

場 所	原子炉建屋	設 備	燃料集合体	設備区分	それ以外の系統
-----	-------	-----	-------	------	---------

設備概要	燃料集合体は、8×8列または9×9列の正形状に配置された燃料棒とウォーターロッド（またはウォーターチャンネル）により構成されており、外側にチャンネルボックスを装着して原子炉内で使用されます。3号機の原子炉内には560体の燃料集合体が装荷されています。				
------	---	--	--	--	--

所 見	- 定格熱出力一定運転中のところ、気体廃棄物処理系除湿冷却器出口放射線モニタの指示値にわずかな上昇傾向が見られました。原因として燃料棒の一部から原子炉冷却材中への放射性物質の微量な漏えいの可能性が考えられたことから、定期検査中に漏えいの可能性のある燃料集合体の調査を行うこととしていました（7月26日にお知らせ済み）。 - 原子炉内全ての燃料集合体（560体）について、 SHIPPING検査*を実施した結果、燃料集合体1体に漏えいがあることを確認しました。また、他の燃料集合体は健全であることを確認しました（10月12日）。 - 漏えいが確認された燃料集合体について外観検査を実施した結果、著しい腐食や損傷は認められませんでした（10月14日）。原因としては、偶発的に発生した漏えいと推定していますが、今後さらに詳細な検査を実施することとしております。 - 漏えいが確認された燃料集合体は、今後、使用済燃料とし、再使用しないこととします。 ※ SHIPPING検査とは、燃料集合体を密閉容器に入れて容器内の気体を分析することにより、漏えい燃料集合体を確認する検査。				
-----	---	--	--	--	--

